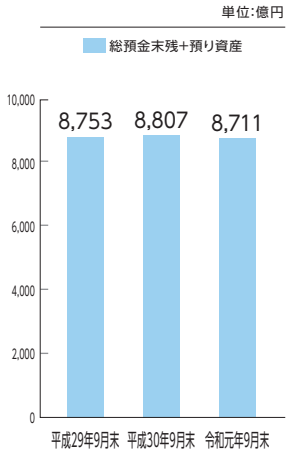
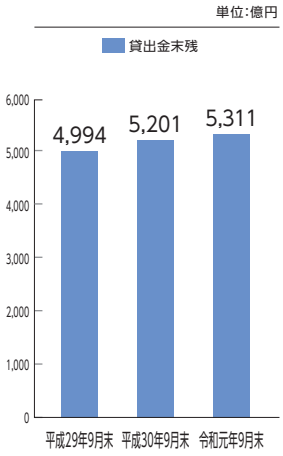
業績ハイライト

総預金及び預り資産・貸出金残高(単体)

・総預金及び預り資産の合計は、預り資産残高は増加したものの、総預金残高が減少したため、平成30年9月末比95億円減少して8,711億円となりました。
・貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したことから、平成30年9月末比109億円増加して5,311億円となりました。

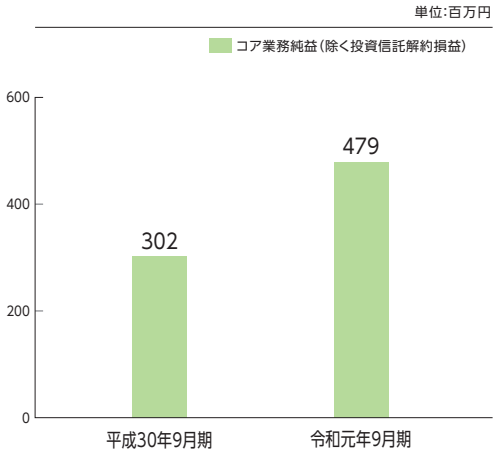




コア業務純益(除く投資信託解約損益)

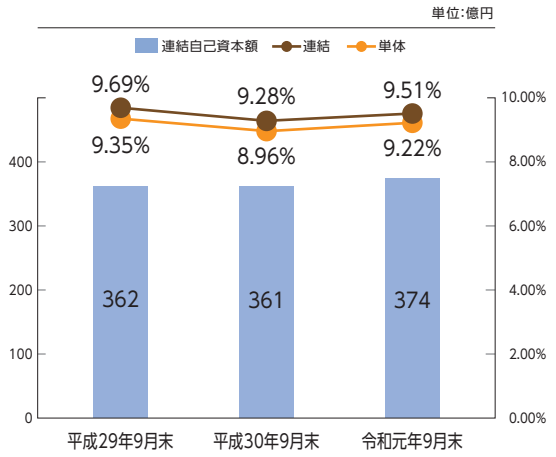
・コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、貸出金利息は減少したものの、経費削減に努めたことなどから、4億79百万円(平成30年9月期比1億77百万円増加)となりました。

※「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」とは、貸出業務など金融機関の本来の収益力をあらわす。
「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」=業務純益+一般貸倒引当金繰入額−国債等債券損益−投資信託解約損益



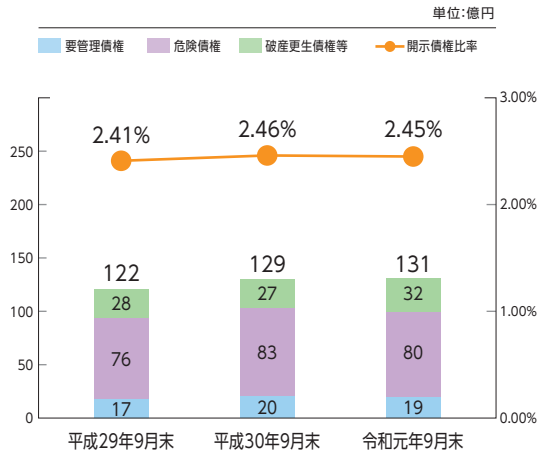
自己資本比率(国内基準)

・自己資本比率は連結で9.51%(平成30年9月末比+0.23ポイント)、単体で9.22%(平成30年9月末比+0.26ポイント)となりました。国内基準行の基準を大きく上回っており健全性を維持しております。



開示債権比率(単体)

・金融再生法による開示債権比率(単体)は2.45%(平成30年9月末比△0.01ポイント)となりました。



※金額は単位未満四捨五入